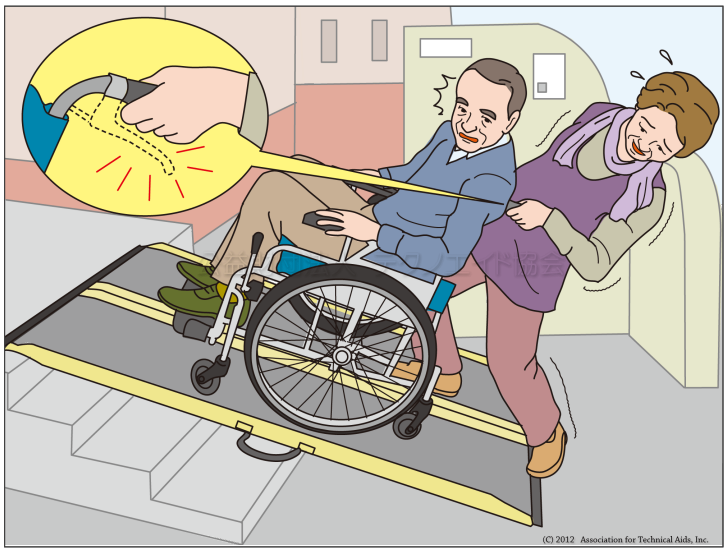
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：126

手押しハンドルにブレーキがついておらず、ひっくり返りそうになる

場面の説明

スロープで下りている際、車いすと利用者の重さを身体で受け止めきれなくなり、ひっくり返りそうになった



利用シーン	移動 階段の昇り降り 外出
主な利用場所	階段 玄関 段差・縁石
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

ゆるやかそうに見えるスロープでも、実際に介助してみると想像以上の重さがかかります。特に下りでは、身体で重さを受け止めるのではなく、ブレーキをかけながらスピードをコントロールすることで、身体的にも楽で安全に介助することが可能です。スロープでの介助が必要なときにはブレーキのついた製品を選ぶことが基本です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：車いすと利用者の重さを受け止める体力がなかった
人：手押しハンドルにブレーキがついている車いすがあることを知らなかった
人：外出する機会があるにもかかわらず、ブレーキ付き車いすを提供しなかった
モノ：ブレーキがついていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.